

講義・演習概要（シラバス）

第3部課程第104期（平成25年7月2日～7月25日）

課 目 名	都道府県と市町村の連携（奈良県の取組）
時 限 数	1 時限
担 当 講 師	奈良県地域振興部市町村振興課長 山下保典 <プロフィール> 昭和59年に奈良県に入庁。 平成21年4月（社）平城遷都1300年記念事業協会広域事業課長 平成23年4月 奈良県観光局ならのにぎわいづくり課長 平成25年4月から現職
ね ら い	都道府県から市町村への権限移譲、都道府県・市町村が共同で対応すべき事務の増大により、従来以上に両者の連携が必要となっていることから、奈良県における取組（「奈良モデル」）の成果と課題を紹介することにより、今後のあるべき地方自治体の連携の姿や課題について理解することをねらいとする。
講 義 概 要	奈良県では市町村合併があまり進まなかったことから、組織的、財政的に脆弱な小規模市町村が多く存在する。本県では、行政サービスの維持向上を図るためには、県と市町村の人的資源、財源、様々な公共施設等を県全体として有効活用する発想が重要であるとの認識のもと、奈良県という地域に最適な行政の仕組みを検討するため「県・市町村の役割分担検討協議会」を立ち上げ、平成22年3月に「県と市町村の役割分担のあり方（奈良モデル）」をまとめた。講義では、「奈良モデル」の背景・仕組み・取組事例を中心に、奈良県が考える県と市町村の連携のあり方について説明する。
受講上の注意	なし
使用教材	講義レジメ
効果測定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし